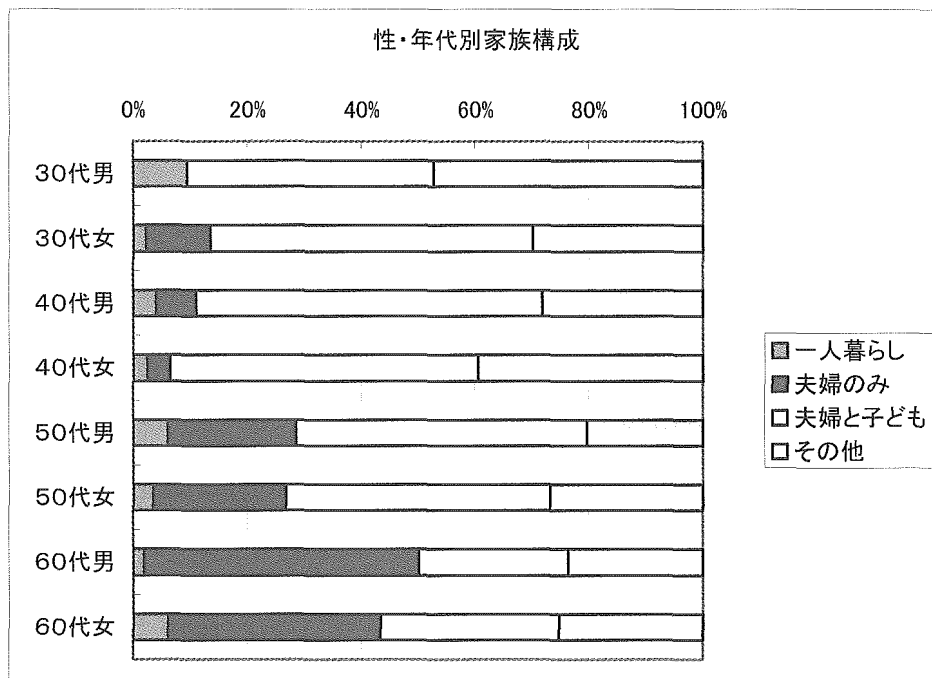


図 4



家族構成の割合については、30代男性では「その他」が、30代女性では「夫婦と子ども」が最も大きく、40代、50代については、男女とも「夫婦と子ども」が、60代については、男女とも「夫婦のみ」が最も大きかった。

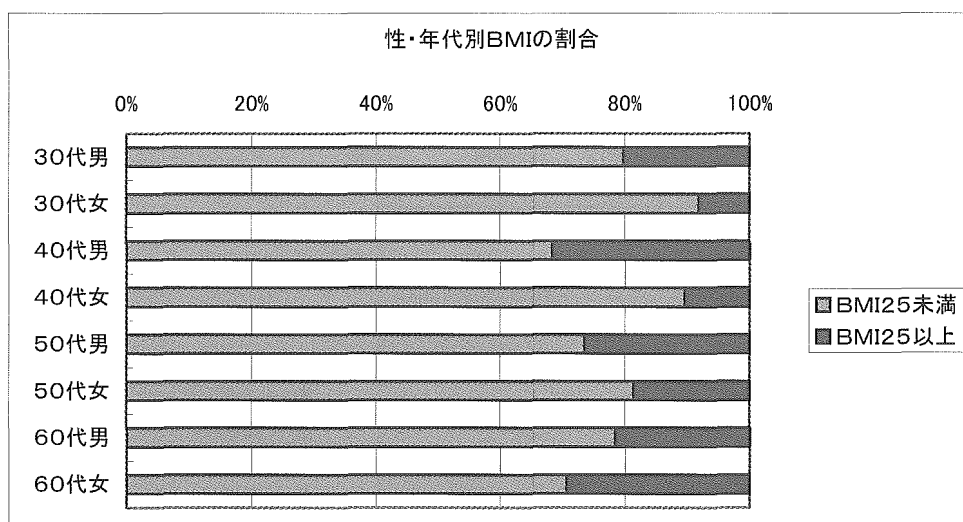
イ 回答者の健康観および健康状態

表 5

性・年代別BMI

	BMI25未満	BMI25以上	合計
30代男	75	19	94
30代女	158	14	172
40代男	67	31	98
40代女	181	21	202
50代男	170	61	231
50代女	232	53	285
60代男	80	22	102
60代女	70	29	99
合計	1033	250	1283

図 5



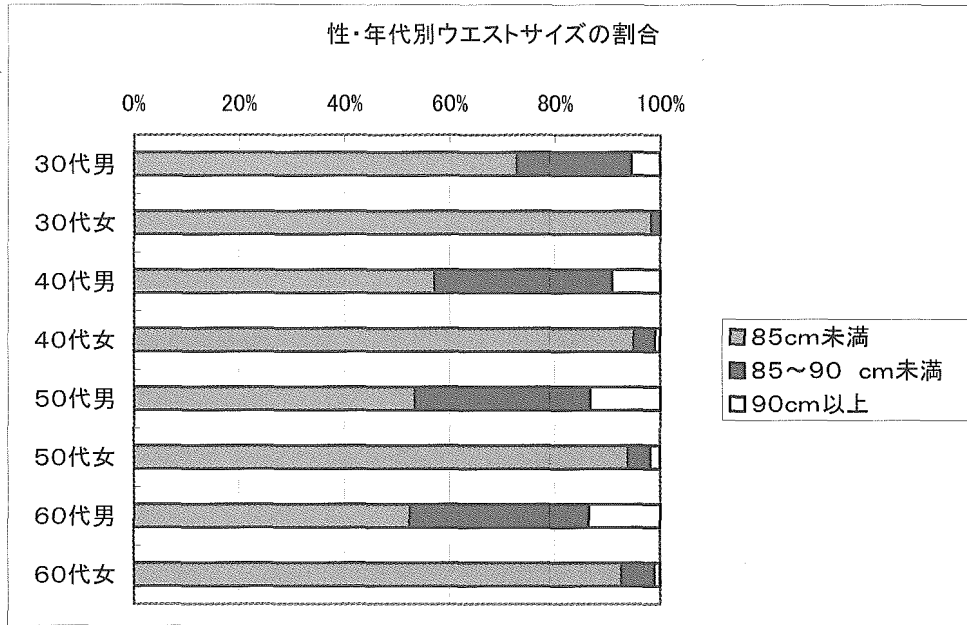
BMI 25以上の割合が最も大きかったのは、40代男性、次いで60代女性、50代男性の順であった。逆に30代女性が最も小さかった。

表 6

性・年代別ウエストサイズの割合

	85cm未満	85~90 cm 未満	90cm以上	合計
30代男	67	20	5	92
30代女	172	3		175
40代男	56	33	9	98
40代女	190	8	2	200
50代男	120	75	30	225
50代女	263	12	5	280
60代男	54	35	14	103
60代女	88	6	1	95
合計	1010	192	66	1268

図 6



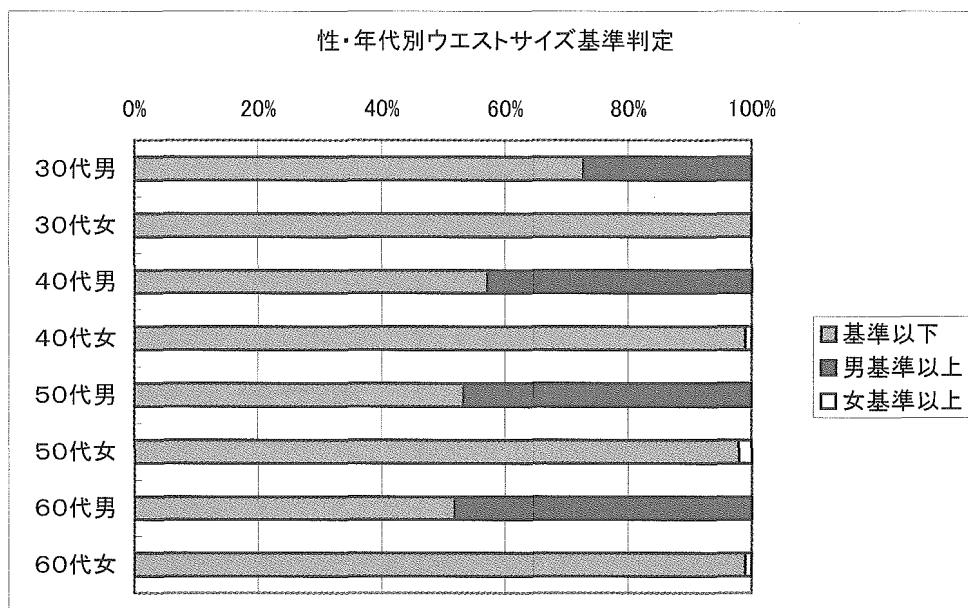
ウエストサイズ「85cm以上」の割合は、50代、60代男性が最も大きく、次いで40代男性の順で、逆に30代女性が最も小さかった。「90cm以上」の割合でも同様の傾向がみられた。

表 7

性・年代別ウエストサイズ基準判定

	基準以下	男基準以上	女基準以上	合計
30代男	67	25		92
30代女	175			175
40代男	56	42		98
40代女	198		2	200
50代男	120	105		225
50代女	275		5	280
60代男	54	49		103
60代女	94		1	95
合計	1039	221	8	1268

図 7



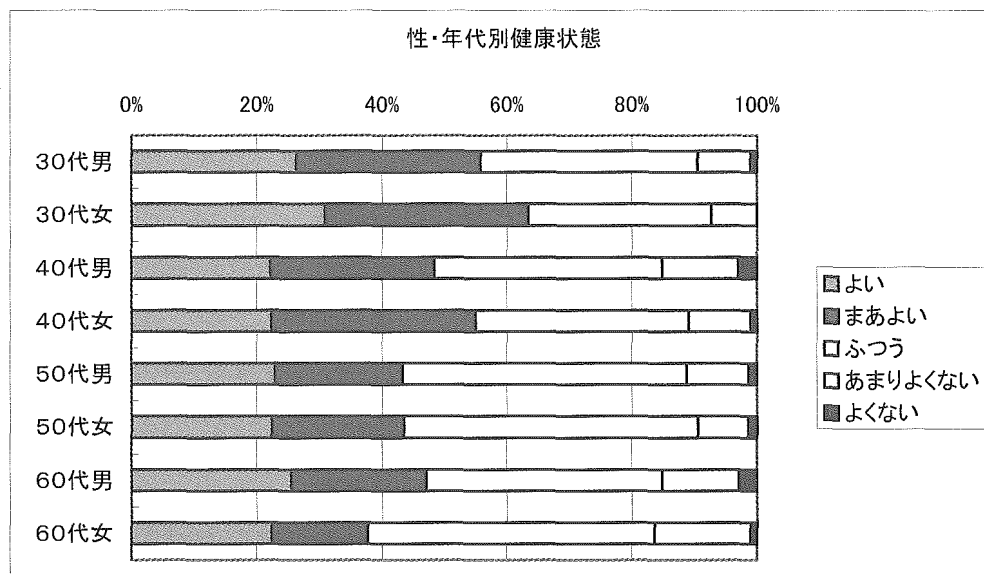
ウエストサイズ基準以上の割合（男性85cm以上、女性90cm以上）は、60代男性が最も大きく、次いで50代、40代の順であった。女性はどの年代もほとんどみられなかった。

表 8

性・年代別健康状態

	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	合計
30代男	25	28	33	8	1	95
30代女	55	58	52	13		178
40代男	22	26	36	12	3	99
40代女	45	66	69	20	2	202
50代男	53	47	105	23	3	231
50代女	64	60	134	23	4	285
60代男	27	23	40	13	3	106
60代女	22	15	45	15	1	98
合計	313	323	514	127	17	1294

図 8



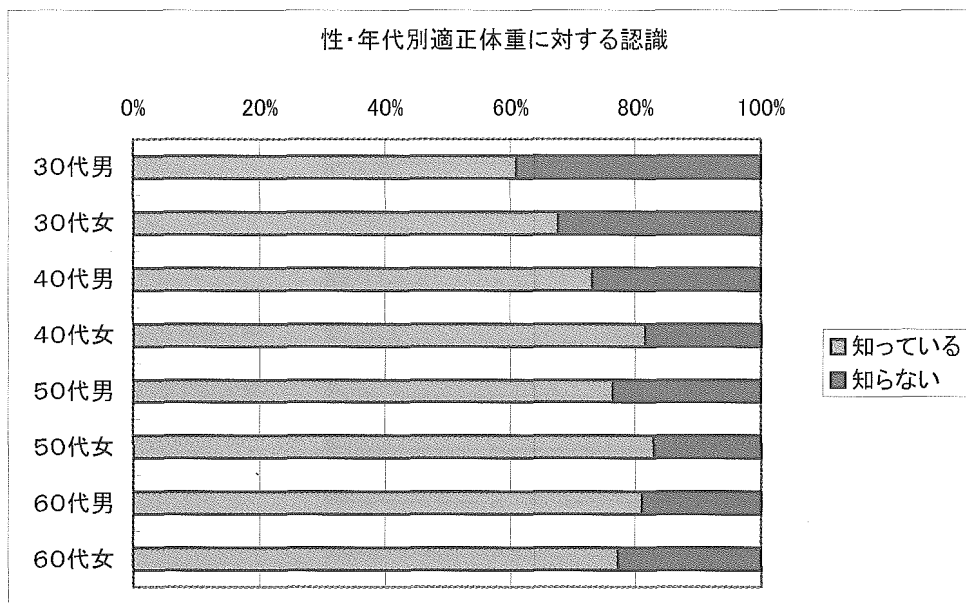
健康状態の割合では、よい、まあよいとの割合は、30代女性が最も大きく、次いで30代男性、40代女性の順であった。逆にあまりよくない、よくないとの割合では、60代女性、60代男性、40代男性の順であった。

表 9

性・年代別適正体重に対する認識

	知っている	知らない	合計
30代男	58	37	95
30代女	120	57	178
40代男	71	26	97
40代女	165	37	202
50代男	176	54	230
50代女	234	48	282
60代男	86	20	106
60代女	75	22	97
合計	985	301	1287

図 9



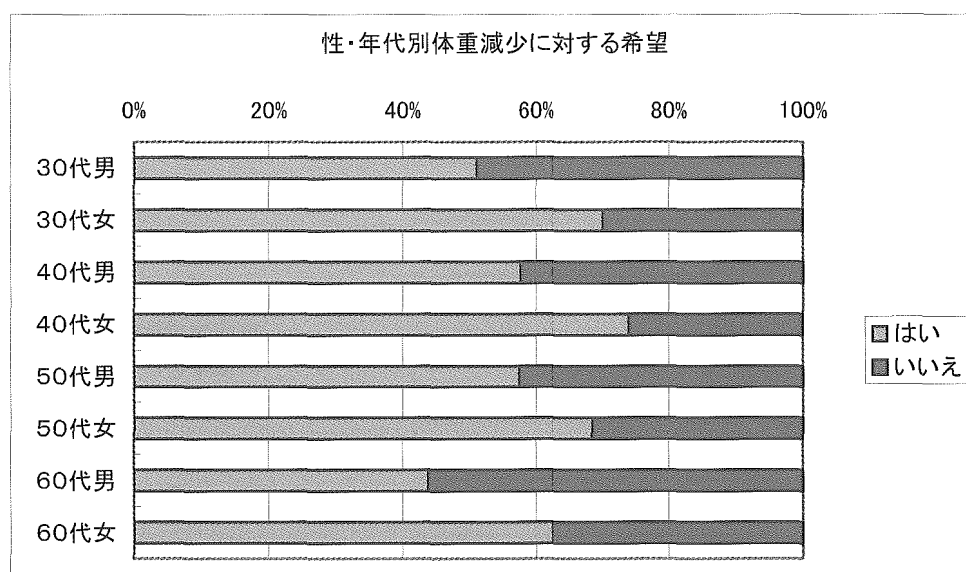
自分の適正体重を知っていると答えた割合は、50代女性が最も大きく、次いで40代女性、60代男性の順であった。逆に知らないと答えた割合は、30代男性が最も大きかった。

表 10

性・年代別体重減少に対する希望

	はい	いいえ	合計
30代男	46	44	90
30代女	120	51	171
40代男	56	41	97
40代女	146	51	197
50代男	123	91	214
50代女	185	85	270
60代男	43	55	98
60代女	60	36	96
合計	779	454	1233

図10



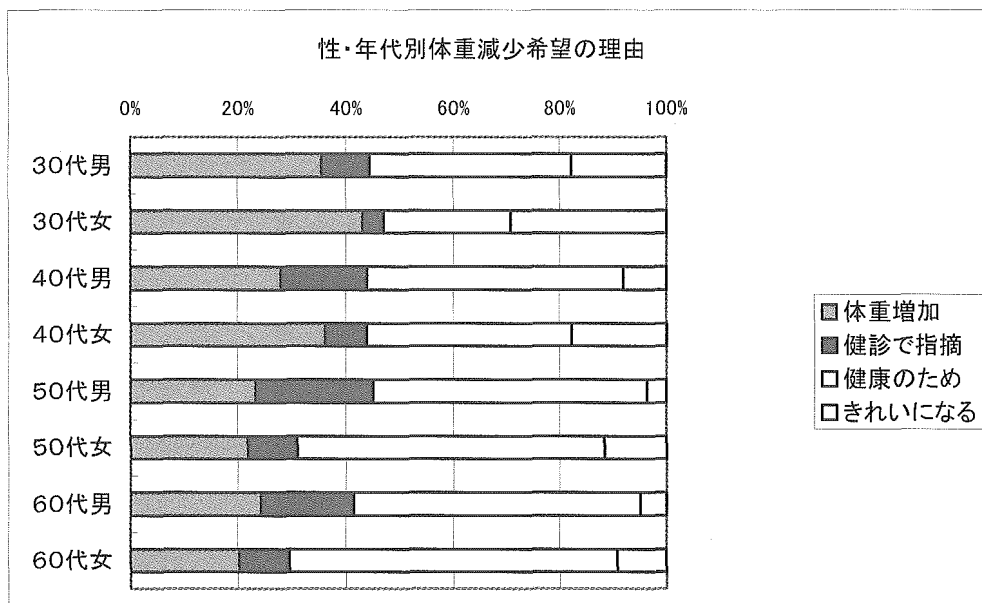
現在の体重を減少させたいと希望している者の割合は、40代女性が最も大きく、次いで30代女性、50代女性の順であった。逆に希望していない割合が最も大きかったのは、60代男性であった。

表11

性・年代別体重減少希望の理由

	体重増加	健診で指摘	健康のため	きれいに なる	合計
30代男	16	4	17	8	45
30代女	44	4	24	30	102
40代男	14	8	24	4	50
40代女	47	10	50	23	130
50代男	26	24	57	4	111
50代女	36	15	94	19	164
60代男	10	7	22	2	41
60代女	11	5	33	5	54
合計	204	77	321	95	697

図 1 1



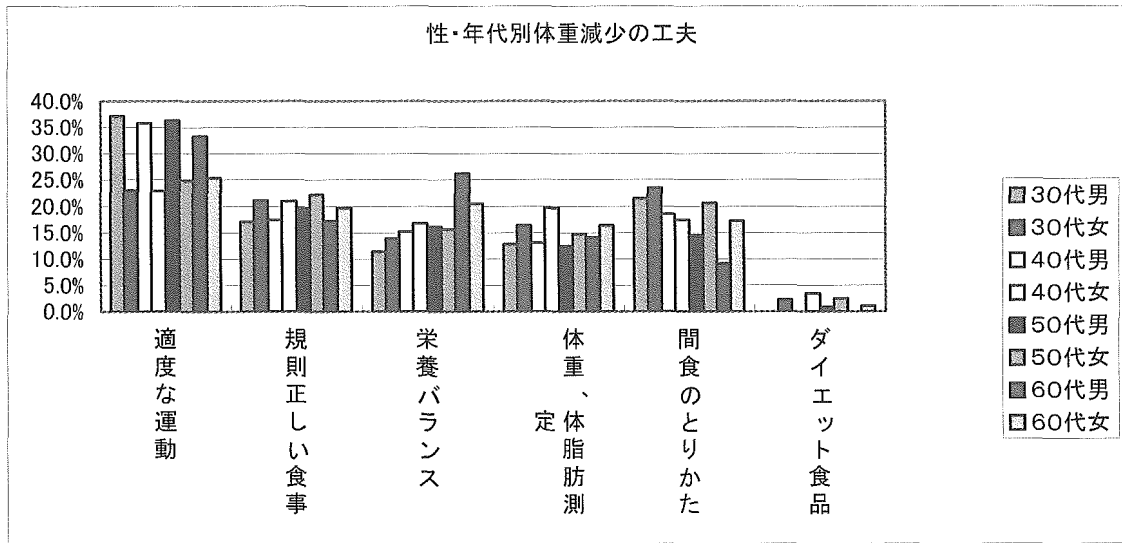
体重を減少させたい理由のうち、体重が増加したからについては、30代女性が最も割合が大きく、次いで40代女性、30代男性の順であった。健診で指摘されたについては、50代男性、60代男性、40代男性の順で大きかった。健康のためと答えた者の割合では、60代女性、次いで50代女性が大きかった。きれいになりたいためと答えた者の割合では、30代女性が最も大きく、次いで40代女性、30代男性の順であった。

表 1 2

性・年代別体重減少の工夫の割合

	適度な運動	規則正しい食事	栄養バランス	体重、体脂肪測定	間食のとりかた	ダイエット食品
30代男	37.1%	17.1%	11.4%	12.9%	21.4%	0.0%
30代女	23.1%	21.2%	13.9%	16.3%	23.6%	2.2%
40代男	35.9%	17.4%	15.2%	13.0%	18.5%	0.0%
40代女	22.9%	21.0%	16.8%	19.7%	17.4%	3.4%
50代男	36.3%	19.8%	16.1%	12.5%	14.5%	0.9%
50代女	24.9%	22.2%	15.7%	14.7%	20.7%	2.5%
60代男	33.3%	17.2%	26.3%	14.1%	9.1%	0.0%
60代女	25.4%	19.7%	20.5%	16.4%	17.2%	1.0%

図 1 2



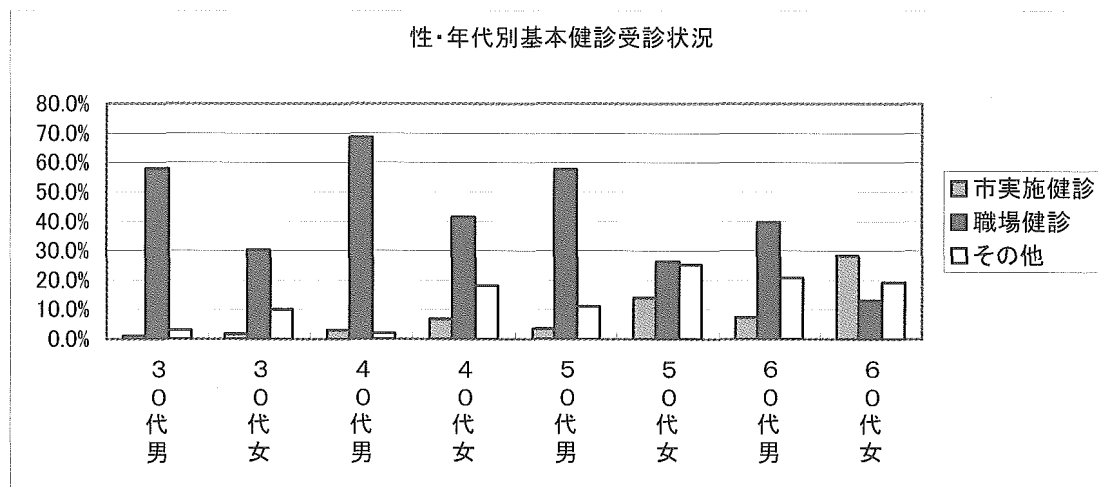
体重を減少させる工夫のうち、適度な運動では、30代男性、50代男性、40代男性の順でその割合が大きかった。規則正しい食事では、50代女性が最も大きく、次いで30代女性、40代女性の順であった。栄養のバランスでは、60代男性、60代女性、40代女性の順であった。体重や体脂肪を測定するについては、40代女性、60代女性、30代女性の順であった。間食のとりかたと回答した者の割合は、30代女性が最も大きく、次いで、50代女性、40代男性であった。ダイエット食品の利用と答えた者の中では、40歳代女性が多くを占めていたが、全体的には、ほとんどなかった。

表 1 3

性・年代別基本健診受診状況

	市実施健診	職場健診	その他
30代男	1.1%	57.9%	3.2%
30代女	1.7%	30.3%	10.1%
40代男	3.0%	68.7%	2.0%
40代女	6.9%	41.4%	18.2%
50代男	3.5%	57.6%	11.3%
50代女	14.0%	26.3%	25.3%
60代男	7.5%	39.6%	20.8%
60代女	28.3%	13.1%	19.2%

図 1 3



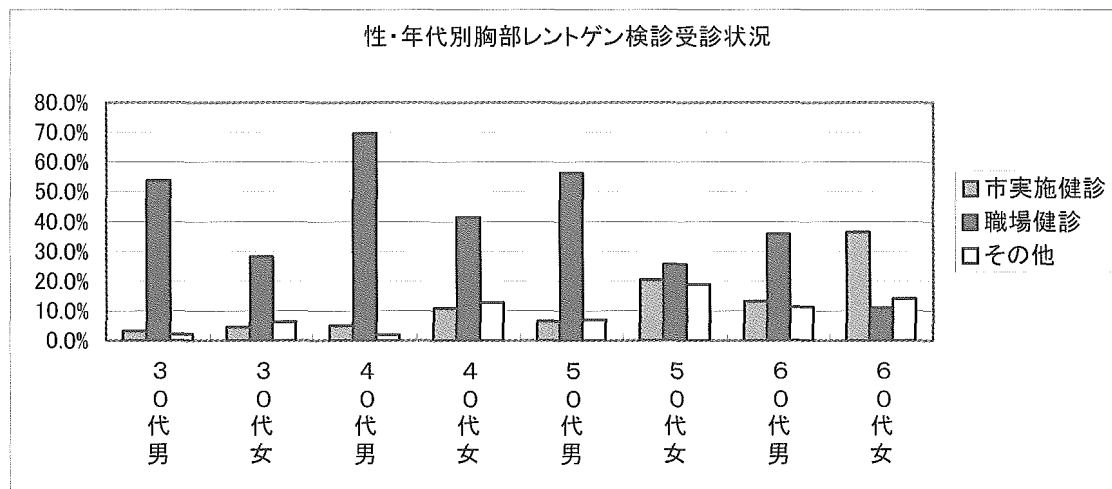
60代女性を除き、全ての年代で、職場検診を受診した者の割合が最も大きく、次いでその他の検診の順であった。その内40代男性が68.7%と最も大きく、次いで30代男性の57.9%であった。60代女性については、市実施の検診を受診した者の割合が28.3%で最も大きかった。

表 1 4

性・年代別胸部レントゲン検診受診状況

	市実施健診	職場健診	その他
30代男	3.2%	53.7%	2.1%
30代女	4.5%	28.1%	6.2%
40代男	5.1%	69.7%	2.0%
40代女	10.8%	41.4%	12.8%
50代男	6.5%	56.3%	6.9%
50代女	20.4%	25.6%	18.9%
60代男	13.2%	35.8%	11.3%
60代女	36.4%	11.1%	14.1%

図14



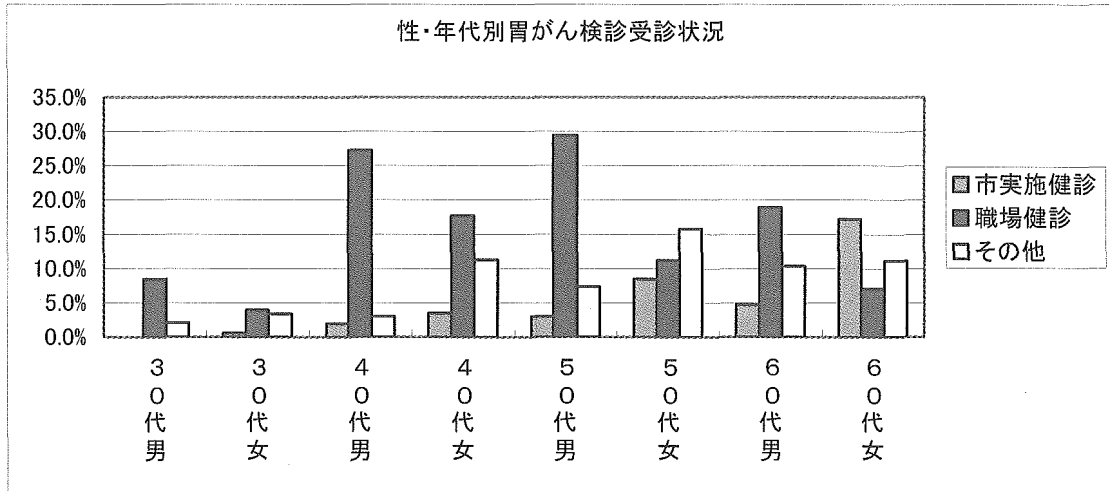
60代女性を除き、全ての年代で、職場検診を受診した者の割合が最も大きかった。その内40代男性が69.7%と最も大きく、次いで50代男性の56.3%であった。60代女性については、市実施の検診を受診した者の割合が36.4%で最も大きかった。

表15

性・年代別胃がん検診受診状況

	市実施健診	職場健診	その他
30代男	0.0%	8.4%	2.1%
30代女	0.6%	3.9%	3.4%
40代男	2.0%	27.3%	3.0%
40代女	3.4%	17.7%	11.3%
50代男	3.0%	29.4%	7.4%
50代女	8.4%	11.2%	15.8%
60代男	4.7%	18.9%	10.4%
60代女	17.2%	7.1%	11.1%

図 1 5



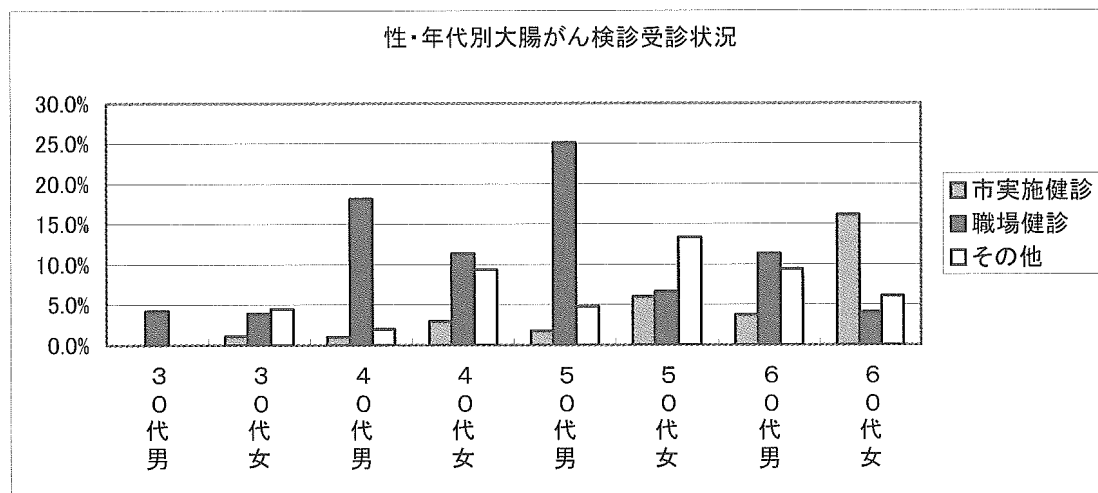
60代女性を除き、全ての年代で、職場検診を受診した者の割合が最も大きく、次いでその他の検診の順であった。その内50代男性が29.4%と最も大きく、次いで40代男性の27.3%であった。60代女性については、市実施の検診を受診した者の割合が17.2%で最も大きかった。

表 1 6

性・年代別大腸がん検診受診状況

	市実施健診	職場健診	その他
30代男	0.0%	4.2%	0.0%
30代女	1.1%	3.9%	4.5%
40代男	1.0%	18.2%	2.0%
40代女	3.0%	11.3%	9.4%
50代男	1.7%	25.1%	4.8%
50代女	6.0%	6.7%	13.3%
60代男	3.8%	11.3%	9.4%
60代女	16.2%	4.0%	6.1%

図 1 6



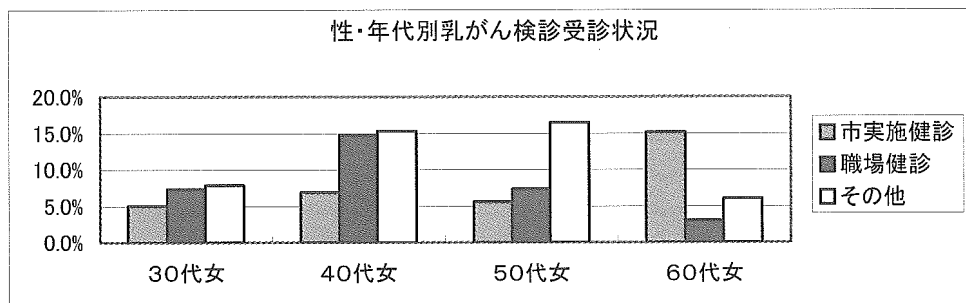
60代女性を除き、全ての年代で、職場検診を受診した者の割合が最も大きく、次いでその他の検診の順であった。その内50代男性が25.1%と最も大きく、次いで40代男性の18.2%であった。60代女性については、市実施の検診を受診した者の割合が16.2%で最も大きかった。

表 1 7

性・年代別乳がん検診受診状況

	市実施健診	職場健診	その他
30代女	5.1%	7.3%	7.9%
40代女	6.9%	14.8%	15.3%
50代女	5.6%	7.4%	16.5%
60代女	15.2%	3.0%	6.1%

図 1 7



60代女性を除き、全ての年代で、その他の検診を受診した者の割合が最も大きく、次いで職場の検診の順であった。その内50代女性が16.5%と最も大きく、次いで40代女性の15.3%であった。60代女性については、市実施の検診を受診した者の割合が15.2%で最も大

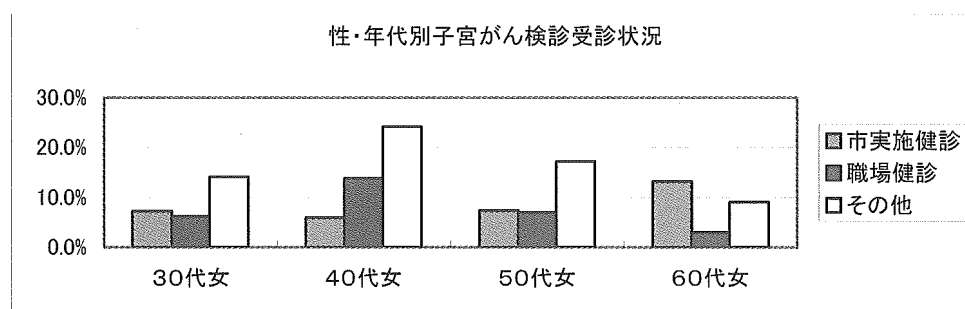
きかった。

表 1 8

性・年代別子宮がん検診受診状況

	市実施健診	職場健診	その他
30代女	7.3%	6.2%	14.0%
40代女	5.9%	13.8%	24.1%
50代女	7.4%	7.0%	17.2%
60代女	13.1%	3.0%	9.1%

図 1 8



60代女性を除き、全ての年代で、その他の検診を受診した者の割合が最も大きく、次いで職場の検診の順であった。その内40代女性が24.1%と最も大きく、次いで50代女性の17.2%であった。60代女性については、市実施の検診を受診した者の割合が13.1%で最も大きかった。

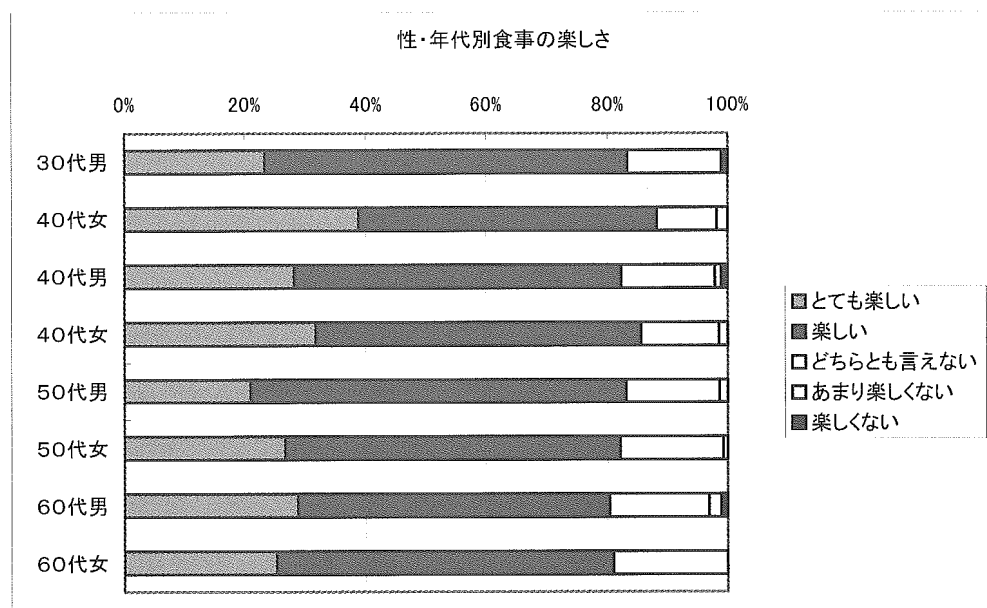
ウ 食事・栄養

表 1 9

性・年代別食事の楽しさ

	とても楽しい	楽しい	どちらとも言えない	あまり楽しくない	楽しくない	計
30代男	21	54	14	0	1	90
40代女	66	84	17	3	0	170
40代男	27	52	15	1	1	96
40代女	62	105	25	3	0	195
50代男	45	133	33	3	0	214
50代女	72	150	46	2	0	270
60代男	28	50	16	2	1	97
60代女	24	53	18	0	0	95

図 1 9



「とても楽しい」「楽しい」と回答した者の割合は、各年代・性別で80%を超えた。30歳代、40歳代、50歳代では、「とても楽しい」と回答した者の割合は女性で大きく、60歳代のみ男性で大きかった。

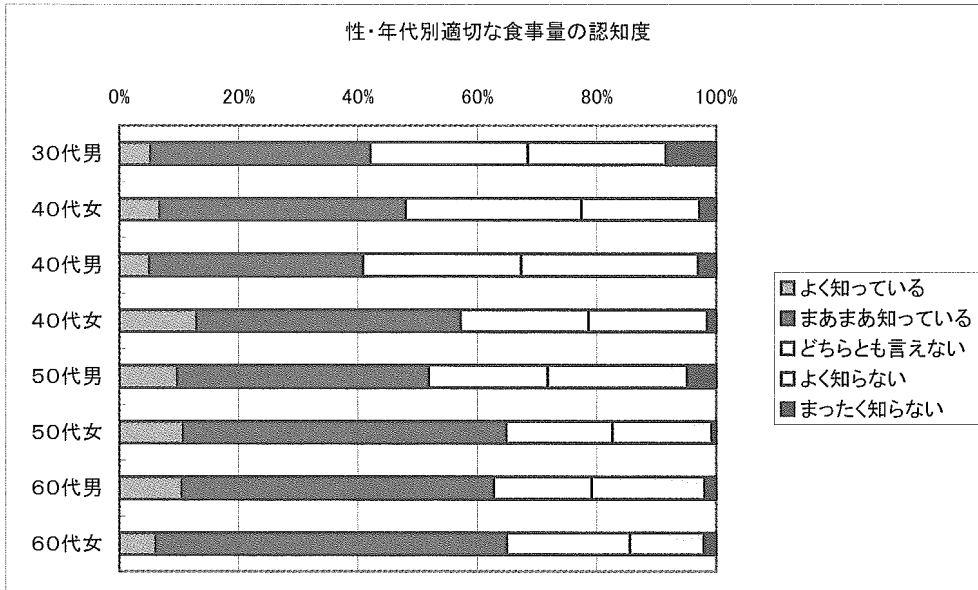
また、「楽しくない」と回答した者の割合はわずかであったが、30歳代、40歳代、60歳代の男性のみにみられた。

表 2 0

性・年代別適切な食事量の認知度

	よく知っている	まあまあ知っている	どちらとも言えない	よく知らない	まったく知らない	計
30代男	5	35	25	22	8	95
40代女	12	73	52	35	5	177
40代男	5	35	26	29	3	98
40代女	26	89	43	40	3	201
50代男	22	96	45	53	11	227
50代女	30	153	50	47	2	282
60代男	11	55	17	20	2	105
60代女	6	57	20	12	2	97

図 2 0



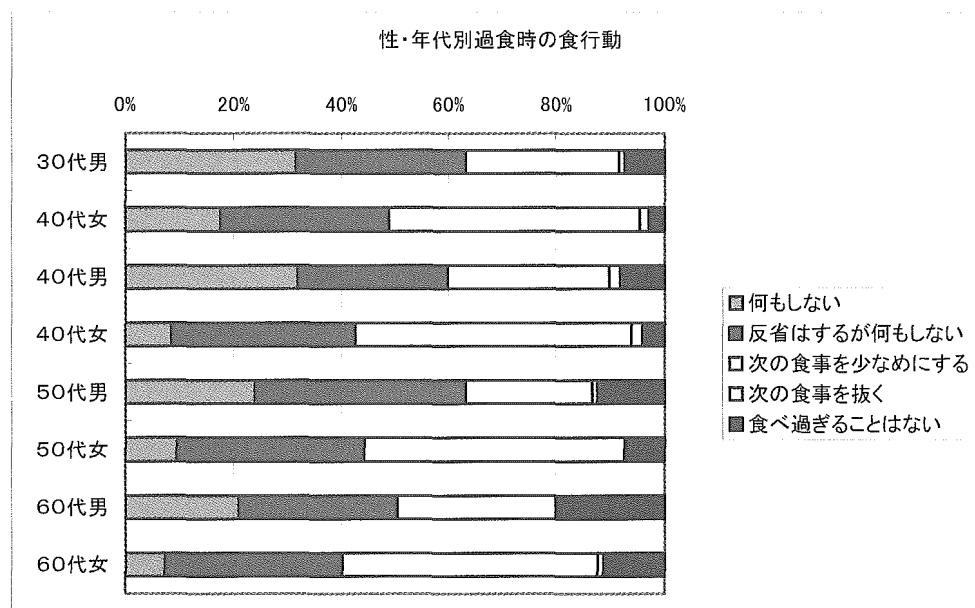
「よく知っている」「まあまあ知っている」と回答した者の割合は、30歳代男女及び40歳代男性で40%を、40歳代女性及び50歳代男性で50%を、50歳代女性及び60歳代男女で60%を超えた。各年代で男性に比べ女性で大きい割合を示した。

表 2 1

性・年代別過食時の食行動

	何もしない	反省はするが 何もしない	次の食事を少 なめにする	次の食事を を抜く	食べ過ぎ ることはな い	計
30代男	30	30	27	1	7	95
40代女	31	55	82	3	5	176
40代男	31	27	29	2	8	97
40代女	17	68	102	4	8	199
50代男	54	88	53	2	28	225
50代女	27	99	137	1	20	284
60代男	22	31	31	0	21	105
60代女	7	32	46	1	11	97

図 2 1



「何もしない」及び「反省はするが何もしない」と回答した者の割合は、いずれも各年代において女性に比べ男性で大きかった。

「次の食事を少なめにする」と回答した者の割合は、女性で大きかった。

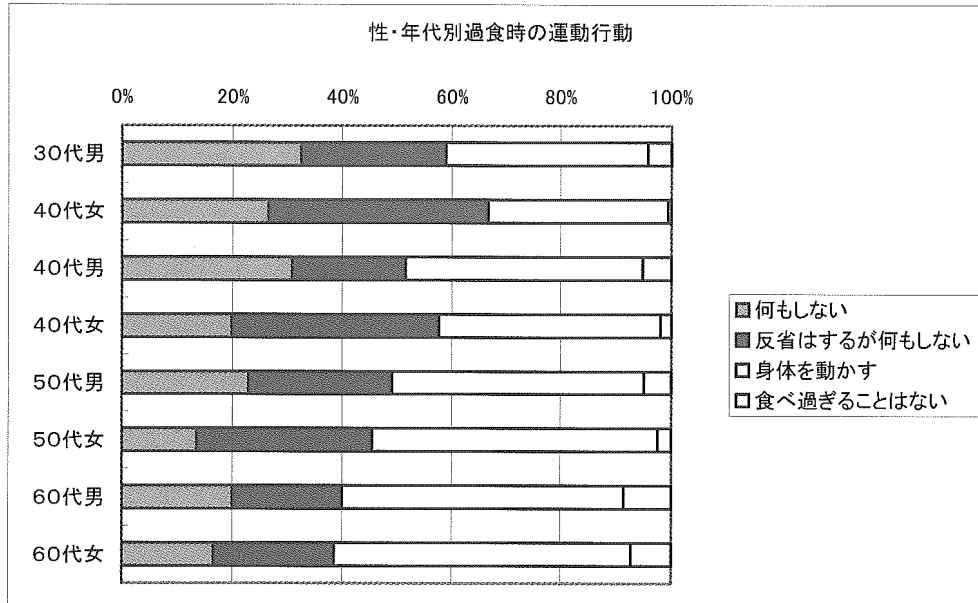
「次の食事を抜く」と回答した者の割合はわずかであったが、60歳代男性以外の年代・性別でみられた。60歳代男性では、「食べ過ぎることはない」と回答した者の割合が最も大きかった。

表 2 2

性・年代別過食時の運動行動

	何もしない	反省はするが何もしない	身体を動かす	食べ過ぎることはない	計
30代男	31	25	35	4	95
40代女	47	71	58	1	177
40代男	30	20	42	5	97
40代女	40	76	81	4	201
50代男	51	58	102	11	222
50代女	38	89	145	7	279
60代男	21	21	54	9	105
60代女	16	21	52	7	96

図 2 2



「何もしない」「反省はするが何もしない」と回答した者の割合は、30歳代女性で最も大きかった。

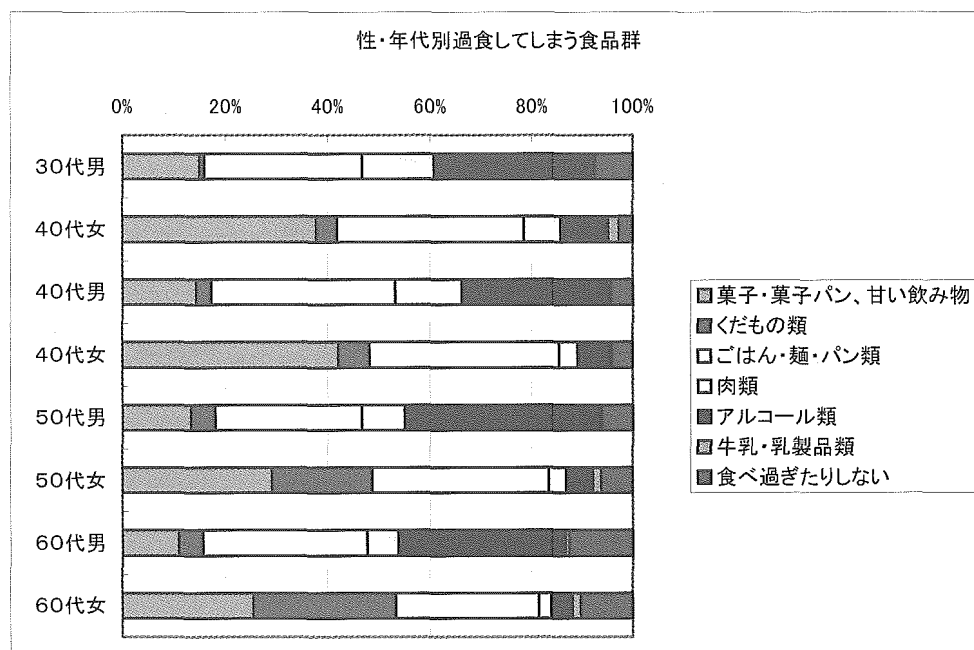
年代で見ると、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の順に大きかった。

表 2 3

性・年代別過食してしまう食品群

	菓子・菓子パン、甘い飲み物	くだもの類	ごはん・麺・パン類	肉類	アルコール類	牛乳・乳製品類	食べ過ぎたりしない	計
30代男	18	1	37	17	38	0	9	120
40代女	86	9	83	17	21	5	6	227
40代男	20	4	50	18	41	0	6	139
40代女	105	15	93	9	16	1	10	249
50代男	38	13	81	24	109	1	17	283
50代女	100	67	119	12	18	6	21	343
60代男	14	6	41	8	42	1	16	128
60代女	30	33	33	3	5	2	12	118

図 2 3



男性では、「アルコール類」、「ごはん・麺・パン類」が各年代で上位2位までを占めた。

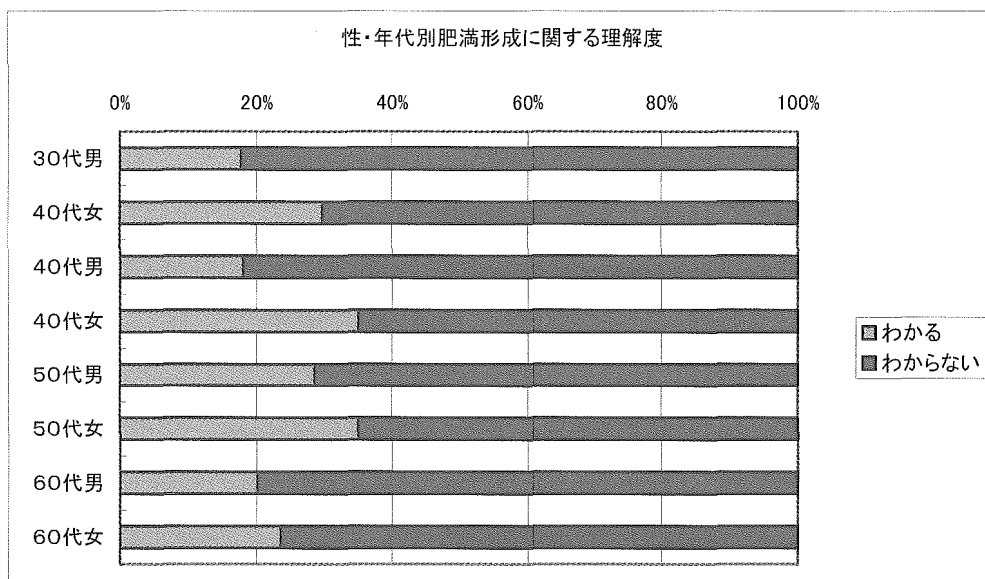
女性では、30歳代、40歳代、50歳代で「菓子・菓子パン、甘い飲み物」、「ごはん・麺・パン類」が上位2位を占め、60歳代では「くだもの類」「ごはん・麺・パン類」が同率で1位を占めた。

表 2 4

性・年代別肥満形成に関する理解度

	わかる	わからない	計
30代男	17	78	95
40代女	53	125	178
40代男	18	81	99
40代女	70	130	200
50代男	65	162	227
50代女	97	180	277
60代男	21	83	104
60代女	22	71	93

図 2 4



「わかる」と回答した者の割合は、30歳代及び40歳代男性で20%を下回り、それ以外の年代・性別では20%を超えた。各年代で男性に比べ女性で高かった。

表 2 5

性・年代別肥満形成に関する理解度保有者の回答

	体重が1kg増える	体重が2kg増える	体重が3kg増える	計
30代男	3	7	7	17
40代女	10	15	26	51
40代男	3	6	10	19
40代女	21	19	31	71
50代男	15	13	34	62
50代女	14	24	55	93
60代男	3	9	9	21
60代女	6	5	9	20